

空を広げる建築：

低層の住宅が立ち並ぶ街で集合住宅が空を覆い隠すように立ち上がっている風景を見ることがある
集合住宅の新しい立ち方を提案することで街の空を広げることはいできないだろうか考えた



敷地 : 千葉県船橋市前原6丁目678番28

低層の住宅が立ち並ぶ住宅街にある敷地

この敷地周辺では現在数多くの集合住宅が建設されている
急速に増える集合住宅により様々な問題を周辺住人との間に起こしている

用途地域 : 第二種中高層住居専用地域

敷地面積 : 4030.74 m²

建ぺい率 : 60%

容積率 : 200%

プログラム：集合住宅



計画敷地周辺で相次ぐ中高層規模の集合住宅の建設：

都内へのアクセスの良さ、価格の安さ等、住環境が充実している船橋市では
中高層規模の集合住宅建設が至る所で行われている

その多くの集合住宅は周辺への配慮の欠けた立ち方となっている



計画敷地に現在建設されている集合住宅：

延べ床面積 : 5943.58 m²

建築面積 : 1488 m²

住戸面積 : 5300 m²

住戸数 : 65 戸

最高高さ : 20000mm

一住戸あたりの面積 70~90 m²、総戸数 65 戸、
南面採光と住居面積を稼ぐために垂直にボリュームが立ち上げられている
その結果、周辺からは壁のようにそびえ立ち、公園へは大きく影を落とす等
周辺環境への配慮の欠けた立ち方となっている、
また、建物以外の場所には機械式駐車場が設置され、外部に対する提案も無く
入居者以外は立ち入ることも無いような計画となっている

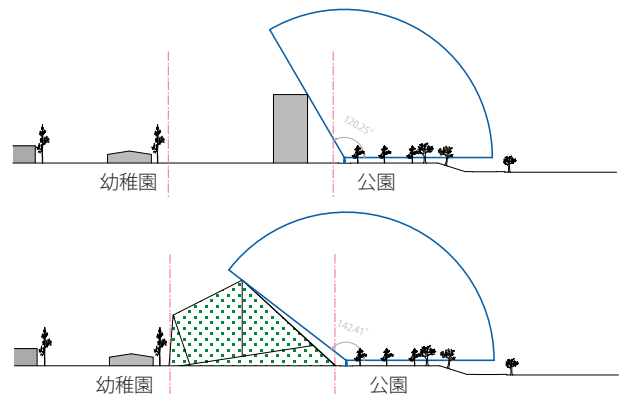
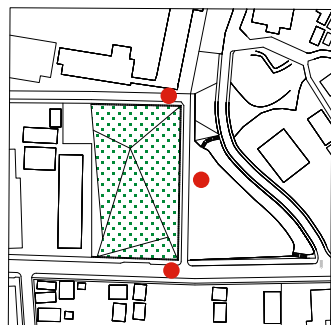
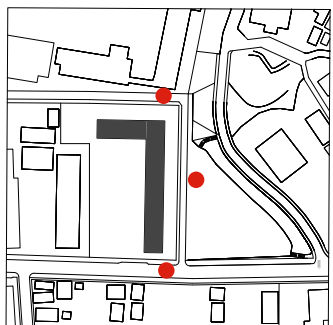


- 敷地北側：
車の通りの少ない細い道路を挟んで利用者の多い公園がある
- 敷地東側：
主要道路とバス停、またその主要道路を挟んだ向かい側には低層の住宅街が並んでいる
- 敷地南側：
一階建の幼稚園
- 敷地西側：
人通りの少ない細い道路を挟んで小学校が建っている

周辺環境に圧迫感を与えないようにどうボリュームを立ち上げるか：

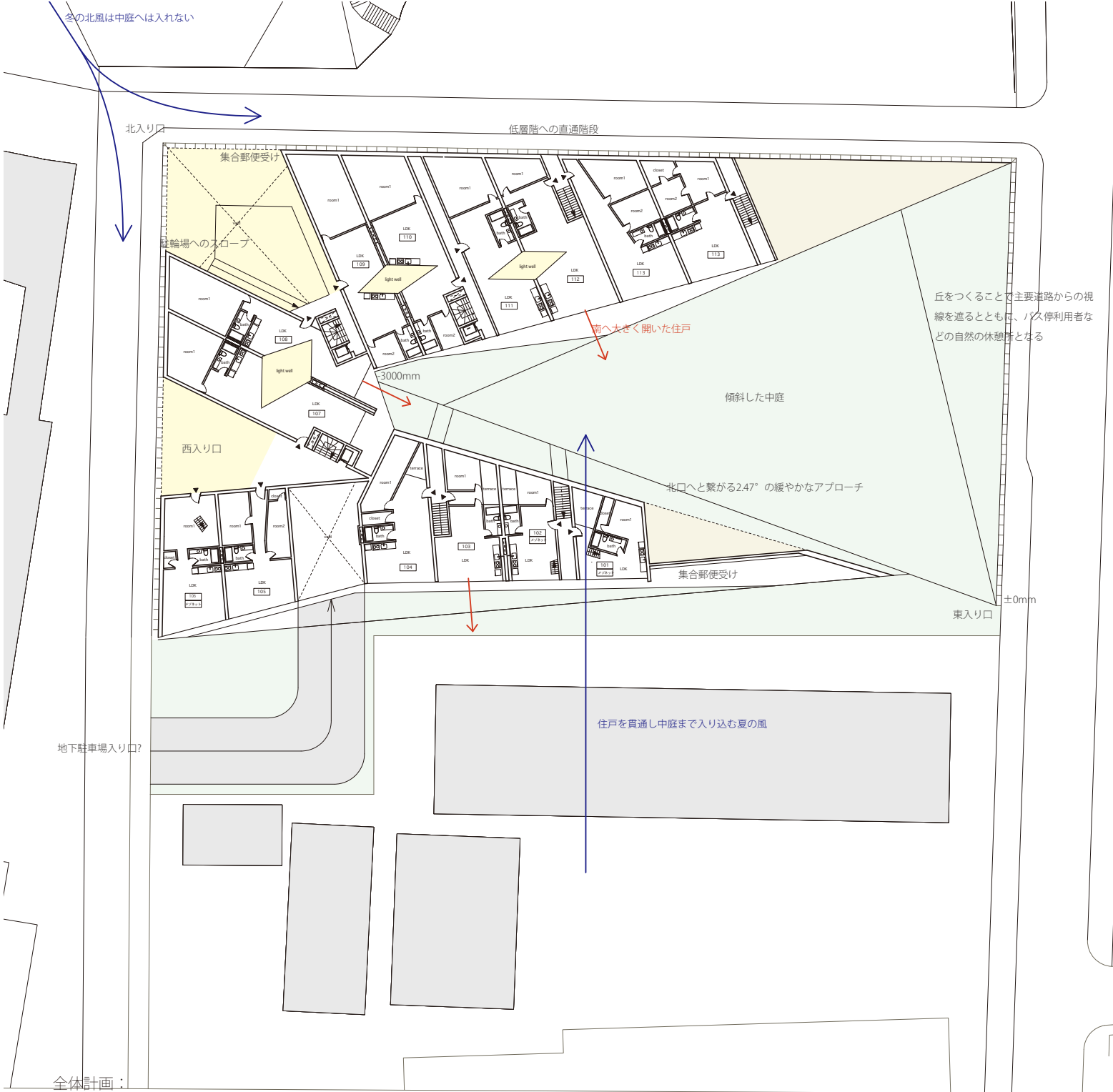
従来の集合住宅のように垂直にボリュームを立ち上げるのではなく、敷地境界線から敷地内へ逃げるようにボリュームを立ち上げる
また低層の建物が建っている敷地南側、東側にはボリュームをできるだけ低くおさえることで主要道路の視線の抜けを維持する
北側の公園には影の落ちる面積を減らす
西側へは道路を挟んですぐに小学校が建っているので、道路、小学校を利用する人へ圧迫感を与えないようにする等、周辺環境を読み解きながらボリュームを配置する

斜めに伸びるボリュームと緑化された斜面：
周辺環境を読み解きながらボリュームを立ち上げ、傾斜した面を緑化することで公園、緑の多い小学校と繋がりを持たせる



左：現在計画されている集合住宅
右：提案する集合住宅

公園へ対して圧迫感を与えないようにボリュームを傾斜させ、その面を緑化することで公園と連続させる



全体計画：

アプローチ：

三面道路を生かし様々な方向より建物へのアプローチが可能で、東入り口より GL-3000 まで緩やかな傾斜の中庭を抜けると北へ大きく開いた入り口へと繋がる

プライバシー：

緑化した面は傾斜しているの、GL レベルからの視線を遮る
また奥行きのあるバルコニーによって住居の中まで視線を通さない
南に大きく開いた面の前方は傾斜した丘となっているので、住居と同じレベルで視線がぶつかることは無いので、他人の視線を気にすることの無い生活を送ることができる

住戸計画：

各住戸は南と東へ大きく開口を確保できるように構造壁ごと南へとむいている
また、奥行き深い住戸は光を内部まで取り入れるため、斜めに伸びる光井戸を貫通させることで光を内部まで取り込み
その光井戸を利用し住居の通風をよくする

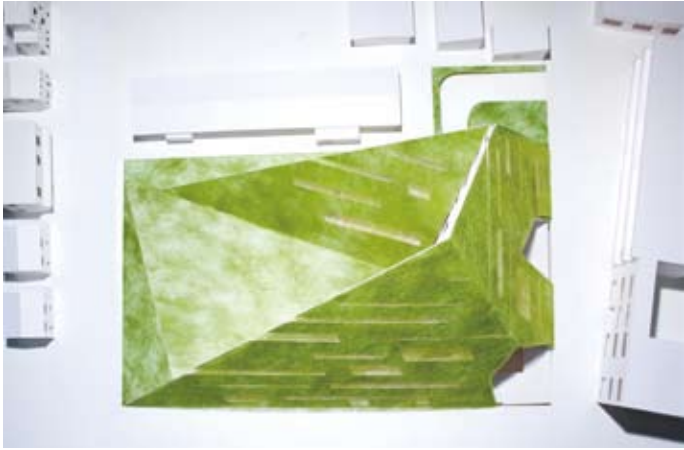
駐車場：

交通量の少ない西側道路より地下駐車場へとアプローチが可能で、地下駐車場、西入り口、北入り口はB1階でつながっている





道路からの見え



敷地境界線より敷地内へ逃げるようにボリュームが立ち上がる



太陽光を住居内に取り入れるため南に大きく口を開いたボリュームになっている

